

# 景況調査（第112回 企業経営者の景気見通し）

## 三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2025年度下期実績見込み・2026年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

### [目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①業況判断（四半期、水準）について	24
②価格転嫁の状況について	25
③米国関税政策の影響等について	26
④消費意識・行動の変化について	28
IV. 生の声	29

## [調査の概要]

1. 調査対象：
  - ①三重県内の事業所 1,055 先 (回答 453 先/回答率 42.9%)
  - ②愛知県内の事業所 316 先 (回答 92 先/回答率 29.1%)
  - (合計調査対象数 1,377 先 (回答 545 先/回答率 39.6%))
2. 調査時期： 2026年1月上旬～1月下旬
3. 調査対象期間： 2025年度下期(25年10月～26年3月)実績見込み(文中表記「今期」)  
2026年度上期(26年4月～9月)見通し(文中表記「来期」)
4. 調査方法： アンケート票送付及びWebアンケート
5. 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		453	100.0%	92	100.0%	545	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	56	12.4%	8	8.7%	64	11.7%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	397	87.6%	84	91.3%	481	88.3%
業種別	製造業	176	38.9%	35	38.0%	211	38.7%
	食料品(飲料含む)	27	6.0%	3	3.3%	30	5.5%
	繊維	2	0.4%	0	0.0%	2	0.4%
	印刷	5	1.1%	0	0.0%	5	0.9%
	石油・化学	15	3.3%	1	1.1%	16	2.9%
	窯業・土石	18	4.0%	1	1.1%	19	3.5%
	一般機器	26	5.7%	6	6.5%	32	5.9%
	電気機器	24	5.3%	2	2.2%	26	4.8%
	輸送用機器	28	6.2%	15	16.3%	43	7.9%
	その他製造	31	6.8%	7	7.6%	38	7.0%
	非製造業	253	55.8%	57	62.0%	310	56.9%
	建設	65	14.3%	15	16.3%	80	14.7%
	不動産	8	1.8%	7	7.6%	15	2.8%
	卸売	26	5.7%	14	15.2%	40	7.3%
	小売	45	9.9%	5	5.4%	50	9.2%
	運輸・倉庫	31	6.8%	7	7.6%	38	7.0%
	観光・宿泊	24	5.3%	1	1.1%	25	4.6%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	54	11.9%	8	8.7%	62	11.4%
	地場産業	24	5.3%	-	-	24	4.4%
製材	8	1.8%	-	-	8	1.5%	
真珠養殖	0	0.0%	-	-	0	0.0%	
真珠加工販売	4	0.9%	-	-	4	0.7%	
鋳鉄・鋳物製造	4	0.9%	-	-	4	0.7%	
萬古焼製造	3	0.7%	-	-	3	0.6%	
萬古焼卸売	5	1.1%	-	-	5	0.9%	
地域別	北勢	189	41.7%	-	-	189	34.7%
	中勢	137	30.2%	-	-	137	25.1%
	南勢	66	14.6%	-	-	66	12.1%
	伊賀	41	9.1%	-	-	41	7.5%
	東紀州	20	4.4%	-	-	20	3.7%
	愛知県	-	-	92	100.0%	92	16.9%

## 6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

## 【調査結果の要旨】

## 業況判断BSIは今期4期連続のマイナスも上向き改善。来期はやや慎重な見通し。

【概況】 三重県内の企業の業況判断 BSI（前年同期比、自社の属する業種の景気）は、2025 年度下期は△1.8 と 4 期連続のマイナスとなったものの 25 年度上期（△7.0）より改善した。26 年度上期は△5.5 とやや慎重な見通し。

業種別にみると、今期、製造業は△0.6 とマイナス幅は縮小、非製造業は+1.2 と 2 期ぶりのプラスに転じた。

今期、業況判断 BSI が高かったのは食料品（+33.3）で内外需ともに好調、次いで高い観光・宿泊（+26.1）は万博終了による客足の戻りや値上げなど、運輸・倉庫（+12.9）は旅客・貨物とも需要増や運賃引き上げなどにより、いずれも売上や採算が上向いた。また、石油・化学（+13.3）や電気機器（+12.5）など幅広い業種で、半導体向け等で受注増となる企業が目立った。一方、自動車関連を中心とする輸送用機器（△17.9）では、一部で米国関税措置に伴う受注減や半導体の供給不足、EV 関連の減産などの影響がみられ、2 桁マイナスが続いた。

来期は、売上高の増加傾向は続くものの、人件費の上昇や原材料高によるコスト負担が依然として重石となり、慎重な見方が続く。製造業では△6.8、非製造業では△1.2 とそれぞれやや悪化の見通し。

設備投資実施企業割合は、今期 45.5%となり前回調査見通し（50.4%）を下回った。米国関税政策の不透明感で設備投資が先送りされたことなどが影響か。来期は 52.6%と高水準の見通し。

人員の過不足感は+51.8 と依然高水準。25 年度あるいは 26 年度中に人員を「増やしたい」は 44.3%を占め運輸・倉庫、建設などで高い。25 年度の賃上げ率は 3.63%で 3 年連続の 3%超。26 年度に賃金を引き上げる方向で検討する企業は 69.0%と 5 年連続で前年度を上回る見通し。

価格転嫁は一定進んでいるものの、転嫁率は仕入価格で 65%、人件費で 53%にとどまり十分ではない。経営上の問題では「人件費の上昇」が約 6 割に上り 2 期連続の 1 位、「原材料高」が約 5 割で 2 位となり、依然としてコスト増が最大の問題。

BSI		2025 年度 上期 (前期)	2025 年度 下期 (今期)	2026 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期 4 期連続のマイナスも上向き、来期は下降	△7.0	△1.8	△5.5
大・中堅企業	今期プラスに転じ、来期は横ばい	0.0	5.4	5.4
中小企業	今期マイナス幅縮小も、来期はやや拡大	△8.0	△2.8	△7.1
売上高 BSI	今期 8 期連続のプラス、来期はほぼ横ばい	0.4	7.1	8.9
販売数量 BSI	今期マイナス幅縮小、来期わずかながらプラス	△7.7	△1.1	0.7
在庫量 BSI	今期・来期ともほぼ横ばい	0.4	0.0	△0.2
販売価格 BSI	今期プラス幅やや拡大、来期はやや縮小	32.6	35.0	31.3
仕入価格 BSI	今期・来期とも大幅プラスでほぼ横ばい	63.0	62.9	61.0
採算 BSI	今期・来期ともマイナス幅やや縮小	△7.1	△4.0	△2.9
資金繰り BSI	今期・来期ともマイナスでほぼ横ばい	△1.9	△3.5	△2.2
設備投資実施割合	今期は低下も、来期は 5 割を超える高水準	50.7%	45.5%	52.6%
雇用過不足感	不足感は上昇し依然高水準	47.1	51.8	—
※業況判断(水準)	26 年 1-3 月 (23.0) →26 年 4-6 月 (20.9) →26 年 7-9 月 (20.2)			

(※) 過不足感は「不足」-「過剰」。「不足」は「不足」+「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」+「やや過剰」の割合。

## 1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは、今期4期連続のマイナスも上向き。来期はやや下降。

### ◆全企業

業況判断BSI(前年同期比、変化方向)は、2025年度下期(以下、今期)は $\Delta 1.8$ となり、25年度上期(以下、前期)( $\Delta 7.0$ )より改善。26年度上期(以下、来期)は $\Delta 5.5$ となりマイナス幅はやや拡大する見通し。

### ◆業種別 …製造業は今期4期連続マイナスもマイナス幅縮小。来期はマイナス幅拡大。 非製造業は今期2期ぶりのプラスに転じる。来期は再びマイナス。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

#### ◇製造業 …今期( $\Delta 0.6$ ) マイナス幅縮小も、来期( $\Delta 6.8$ ) はマイナス幅拡大。

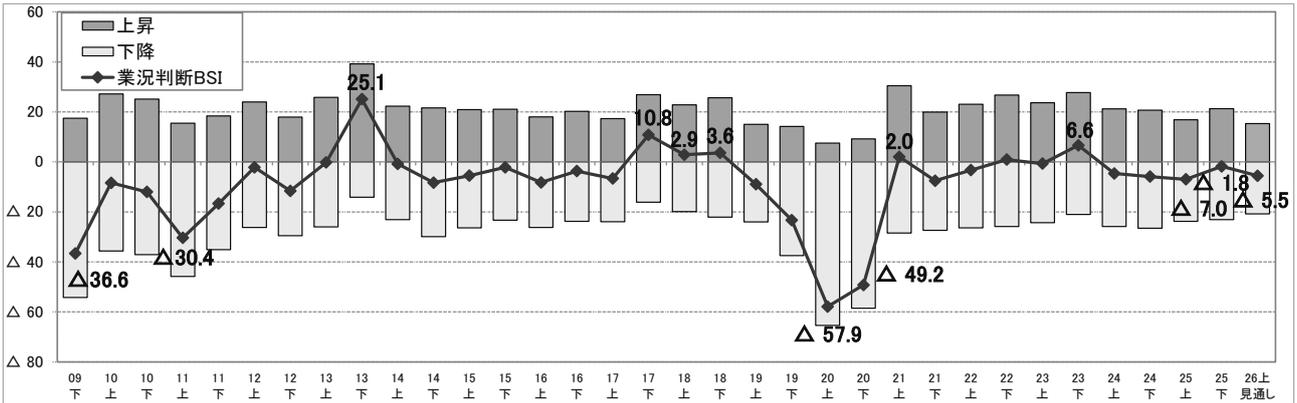
- 【食料品】 今期3期ぶりの2桁プラス、来期はマイナス。今期、販売数量・価格、売上高、採算とも大幅プラス。来期採算は原材料高、円安で慎重な見通し。
- 【印刷】 今期2期連続のプラスも、来期はマイナス。
- 【石油・化学】 今期10期連続プラスで2桁プラス、来期は横ばい。販売数量は今期、来期ともプラス。半導体材料、フィルム、化粧品などの需要増。
- 【電気機器】 今期2期連続プラス、来期はマイナス。今期は販売数量がプラス、価格転嫁済み採算もプラス。半導体製造装置関連など受注増。来期は反動減等。
- 【繊維】 今期0.0に改善、来期は横ばい。
- 【その他製造】 今期8期連続マイナスもマイナス幅縮小、来期はプラスに。
- 【一般機器】 今期3期連続の2桁マイナスもマイナス幅縮小、来期はプラス。売上高は今期0.0、来期プラスに。半導体向け、米価上昇で農機械向けなど堅調。
- 【輸送用機器】 今期4期連続の2桁マイナス、来期は横ばい。売上高は今期マイナス、来期はプラス。一部で米国関税、半導体不足、EV向け減産等の影響。
- 【窯業・土石】 今期4期連続のマイナスでマイナス幅拡大、来期は縮小。

#### ◇非製造業 …今期(+1.2) は2期ぶりのプラス、来期( $\Delta 1.2$ ) はマイナスに。

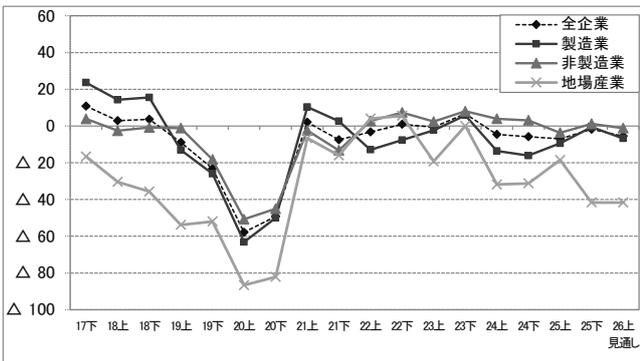
- 【観光・宿泊】 今期2期ぶりのプラスで2桁プラス、来期はプラス幅縮小。今期、来期とも販売数量・価格、採算が2桁プラス。万博終了による需要回復、値上げ、来期はインバウンド、神宮式年遷宮関連の祭事開催等が好影響。
- 【運輸・倉庫】 今期5期連続のプラスで2桁プラス、来期はプラス幅縮小。販売数量・価格、採算がプラス。台湾・国内旅客、自動車部品などで増加見込み。
- 【不動産】 今期2期ぶりのプラス、来期はマイナス。売上高は今期、来期ともマイナス。
- 【サービス】 今期3期連続のプラス、来期はプラス幅拡大。売上高が今期、来期とも2桁プラス。飲食店、ビルメンテナンス、労働者派遣請負、ソフトウェア開発など好調。
- 【卸売】 今期4期ぶりのプラス、来期はマイナス。
- 【小売】 今期4期連続のマイナス、来期はマイナス幅拡大。今期、売上高2桁プラスも、来期は0.0。価格転嫁進展も、購入点数が減少、メリハリ消費。
- 【建設】 今期3期連続のマイナスで2桁マイナス、来期もマイナス。

#### ◇地場産業 …今期( $\Delta 41.7$ ) マイナス幅拡大、来期( $\Delta 41.7$ ) は横ばい。

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)										
		21下	22上	22下	23上	23下	24上	24下	25上	25下 (見通し)	26上 (見通し)	
業種別	全企業	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	△ 4.6	△ 5.9	△ 7.0	△ 5.3	△ 1.8	△ 5.5
	規模別											
	大・中堅企業	△ 4.0	0.0	△ 3.8	△ 3.6	24.5	30.9	13.1	0.0	3.4	5.4	5.4
	中小企業	△ 8.0	△ 3.7	1.6	△ 0.3	4.3	△ 9.5	△ 8.8	△ 8.0	△ 6.5	△ 2.8	△ 7.1
	製造業	2.6	△ 12.9	△ 7.7	△ 2.3	5.8	△ 13.6	△ 16.1	△ 9.5	△ 4.5	△ 0.6	△ 6.8
	食料品	△ 18.5	△ 4.0	3.8	19.0	20.0	4.5	△ 8.3	△ 13.8	△ 3.4	33.3	△ 7.4
	繊維	△ 16.7	△ 75.0	△ 50.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 25.0	△ 40.0	△ 40.0	0.0	0.0
	印刷	△ 14.3	16.7	△ 50.0	0.0	16.7	△ 16.7	△ 42.9	14.3	△ 28.6	20.0	△ 20.0
	石油・化学	44.4	25.0	20.0	23.1	8.3	12.5	23.5	17.6	17.6	13.3	13.3
	窯業・土石	10.0	△ 21.4	△ 18.2	12.5	6.7	△ 25.0	△ 6.7	△ 11.8	0.0	△ 33.3	△ 5.6
	一般機器	△ 5.6	△ 7.1	△ 14.7	△ 6.1	0.0	6.9	△ 22.6	△ 16.7	△ 13.9	△ 11.5	3.8
	電気機器	6.7	0.0	0.0	△ 26.1	△ 5.0	△ 38.1	△ 30.4	4.0	△ 4.0	12.5	△ 33.3
輸送用機器	8.7	△ 42.9	△ 16.7	△ 4.0	26.7	△ 15.6	△ 12.9	△ 12.5	△ 3.1	△ 17.9	△ 17.9	
その他製造	10.5	△ 15.4	△ 2.9	△ 10.3	△ 11.8	△ 31.0	△ 26.5	△ 18.2	0.0	△ 6.5	6.5	
大・中堅企業	4.5	△ 11.5	△ 3.8	8.3	15.4	32.0	△ 3.6	△ 7.1	0.0	△ 12.5	△ 4.2	
中小企業	2.3	△ 13.2	△ 8.3	△ 4.0	4.1	△ 21.2	△ 18.4	△ 9.8	△ 5.2	1.3	△ 7.2	
非製造業	△ 13.2	2.7	7.4	2.4	8.0	3.9	3.1	△ 3.7	△ 3.7	1.2	△ 1.2	
建設	△ 16.9	△ 7.7	△ 6.1	△ 15.4	8.0	9.5	△ 6.1	△ 5.2	△ 22.4	△ 18.5	△ 12.3	
不動産	△ 20.0	△ 11.1	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	△ 7.1	14.3	12.5	△ 12.5	
卸売	△ 7.7	0.0	7.1	△ 6.9	7.4	△ 5.6	0.0	△ 9.7	6.5	4.0	△ 3.8	
小売	△ 48.6	△ 17.1	0.0	32.5	0.0	△ 9.5	△ 7.5	△ 2.4	△ 14.3	△ 2.2	△ 8.9	
運輸・倉庫	△ 11.1	△ 23.3	0.0	△ 15.6	25.9	16.7	6.9	3.6	0.0	12.9	3.2	
観光・宿泊	△ 8.3	64.3	88.2	50.0	23.5	14.3	34.6	△ 20.8	8.3	26.1	13.0	
サービス	15.6	17.3	8.9	0.0	2.0	0.0	7.8	6.1	8.3	7.5	13.2	
大・中堅企業	△ 10.7	9.7	△ 3.8	△ 12.9	34.8	30.0	27.3	6.5	6.5	18.8	12.5	
中小企業	△ 13.6	1.8	8.8	4.6	5.0	0.4	△ 0.4	△ 5.1	△ 5.1	△ 1.4	△ 3.2	
地場産業	△ 16.0	4.0	5.6	△ 19.2	0.0	△ 31.8	△ 31.3	△ 18.5	△ 25.9	△ 41.7	△ 41.7	
製材	28.6	12.5	△ 28.6	△ 75.0	△ 42.9	△ 44.4	△ 33.3	△ 50.0	△ 37.5	△ 37.5	△ 50.0	
真珠養殖	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	
真珠加工販売	0.0	△ 25.0	25.0	25.0	20.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 33.3	△ 50.0	△ 75.0	△ 100.0	
銑鉄鋳物	△ 100.0	△ 100.0	—	△ 50.0	50.0	△ 66.7	50.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 25.0	
萬古焼製造	△ 40.0	0.0	0.0	0.0	△ 66.7	0.0	—	△ 33.3	0.0	△ 33.3	0.0	
萬古焼卸売	△ 37.5	14.3	25.0	11.1	25.0	0.0	△ 33.3	28.6	△ 14.3	△ 20.0	△ 20.0	

※地場産業と繊維、印刷、不動産はサンプル数が少ないため指数の振れに注意。—は回答がなかったことを示す。

◆企業規模別 …大・中堅企業は今期プラスに転じ、来期は横ばい。

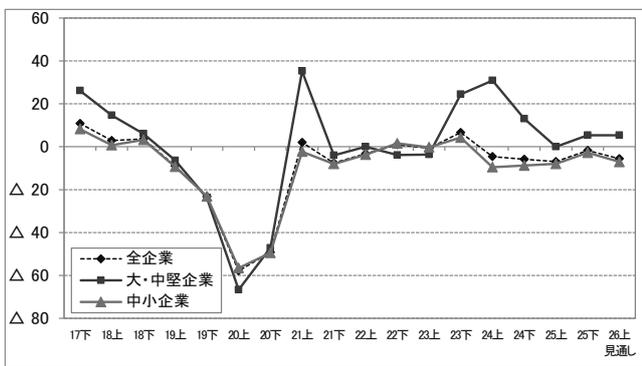
中小企業は今期マイナス幅縮小も、来期はやや拡大。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、大・中堅企業は、2期ぶりのプラスに転じ、来期は横ばいとなる見通し。中小企業は、今期4期連続のマイナスもマイナス幅は縮小、来期はマイナス幅やや拡大の見通し。

製造業では、大・中堅企業は今期3期連続のマイナスでマイナス幅拡大、来期はマイナス幅縮小の見通し。中小企業は今期4期ぶりのプラスに転じるも、来期はマイナスの見通し。

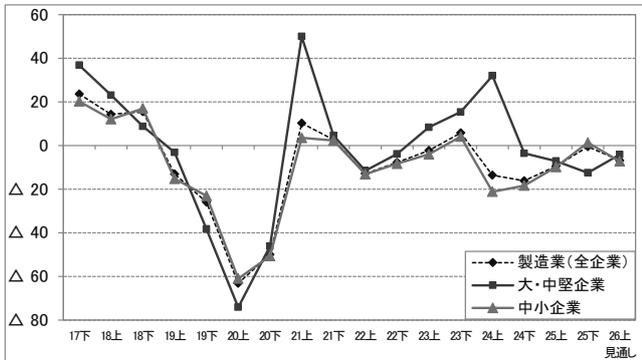
非製造業では、大・中堅企業は今期5期連続のプラスでプラス幅拡大、来期も2桁プラス。中小企業は3期連続のマイナスもマイナス幅やや縮小、来期はほぼ横ばいの見通し。

■業況判断BSI（企業規模別）

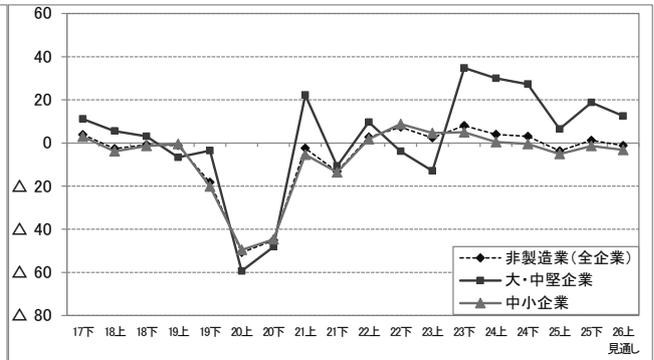


※左図のデータには、地場産業を含む

(製造業・企業規模別)



(非製造業・企業規模別)



◆地域別 …南勢地域は今期プラスに転じる。伊賀地域は今期マイナスも来期はプラスに。

業況判断 BSI を地域別にみると、南勢地域は今期4期ぶりのプラスで、来期は0.0。中勢地域は今期3期ぶりのプラスに転じるも来期はマイナスの見通し。伊賀地域は今期2期ぶりのマイナスも、来期はプラスに転じる見通し。北勢地域は今期4期連続のマイナス、来期もマイナスの見通し。東紀州地域は、今期マイナス幅拡大、来期はマイナス幅縮小も2桁マイナスの見通し。

■業況判断BSI（地域別）の推移

	(前回調査時点)										
	21下	22上	22下	23上	23下	24上	24下	25上	25下 (見通し)	25下	26上 (見通し)
全地域	△ 7.5	△ 3.3	0.9	△ 0.7	6.6	△ 4.6	△ 5.9	△ 7.0	△ 5.3	△ 1.8	△ 5.5
北勢地域	△ 5.7	△ 0.5	2.3	5.1	6.7	△ 0.5	△ 5.1	△ 1.5	△ 1.5	△ 2.7	△ 5.3
中勢地域	△ 6.1	△ 7.0	△ 1.6	△ 3.9	11.1	0.8	△ 2.4	△ 8.7	△ 8.8	0.7	△ 9.5
南勢地域	△ 13.1	16.2	23.4	6.3	12.9	△ 1.7	△ 4.3	△ 24.3	△ 14.9	3.1	0.0
伊賀地域	0.0	△ 28.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 8.6	△ 23.8	△ 9.3	2.8	2.8	△ 2.4	2.4
東紀州地域	△ 18.8	△ 20.0	△ 34.5	△ 38.1	△ 15.0	△ 43.5	△ 28.0	△ 4.5	0.0	△ 25.0	△ 15.0